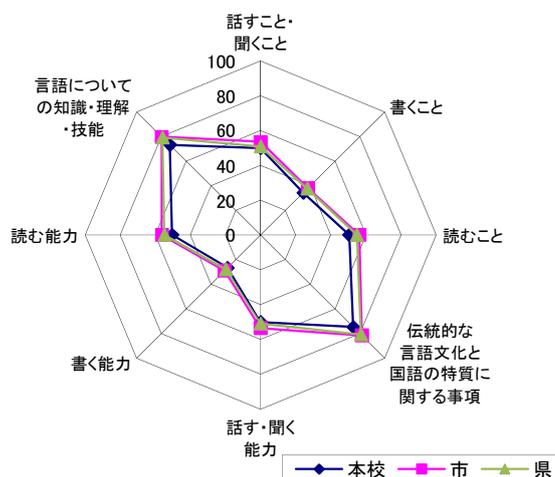


# 宇都宮市立海道小学校 第5学年【国語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	50.0	53.5	50.9
	書くこと	34.4	38.1	37.6
	読むこと	50.5	56.3	54.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.7	81.6	80.8
観点	話す・聞く能力	50.0	53.5	50.9
	書く能力	26.6	29.0	28.0
	読む能力	50.5	56.3	54.9
	言語についての知識・理解・技能	73.1	79.8	79.1



## ★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●領域別の正答率は50.0%で、県平均を0.9ポイント下回る。</li> <li>○司会者の話し合いの進め方の工夫についての問題の正答率は56.3%で、県平均を16.5ポイント上回る。</li> <li>●話し方の工夫に気を付けて聞くの問題の正答率は53.1%で、県平均を13.3ポイント下回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中だけでなく、話し合いを行うときには、話の目的を理解し、意見と理由の両方に着目して聞き取らせたり、意見と理由を明確にして相手に分かりやすく話させるようにしたりする。</li> <li>・学級として話を聞き取る習慣の形成を図り、積極的に話し合いに参加する態度を育てる。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●領域別の正答率は34.4%で、県平均を3.2ポイント下回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の授業以外でも日記や招待状、お礼の手紙を書かせる機会を多く設けることで、基本的な書き方に慣れさせるとともに、作文に対する苦手意識をなくすようにする。</li> <li>・自分の主張を明確にし、その理由を経験や聞いたことなどから具体的に書くなど、構成を意識して書くように指導する。</li> <li>・主述関係を明らかにしながら、短い文章で言いたいことを書き表すように指導する。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●領域別の正答率は50.5%で、県平均を4.4ポイント下回る。</li> <li>●叙述を基に、場面の様子を読むなど物語の内容を理解する問題の正答率は41.7%で、県平均を10.5ポイント下回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた情報を正確に読み取ったり、正しく修正したりする力を叙述を基に読み取るような問題を準備して培っていく。また、国語以外の教科でも行い、継続した指導を行っていく。</li> <li>・読書を励行し、日常的に書かれている内容を読み取る力をつけていくようにする。</li> </ul>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●領域別の正答率は74.7%で、県平均を6.1ポイント下回る。</li> <li>●漢字の書きの問題の平均正答率は60.9%で、県平均を9.8ポイント下回る。</li> <li>●漢字辞典の使い方の問題の正答率は53.1%で、県平均を16.2ポイント下回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市で行っているステップアップシートなどを活用し、継続して練習に取り組むようにする。</li> <li>・漢字の書き取り練習とミニテストを繰り返し行うことで、その定着を図る。</li> <li>・作文や日記指導だけではなく、すべての教科において、既習の漢字を使うように指導する。</li> </ul>